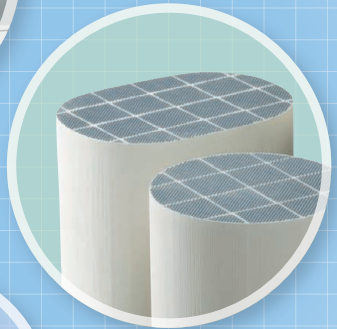


株主の皆様へ

2009年度(第144期)

中間報告書

(2009年4月1日から2009年9月30日まで)





株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

当社グループの第144期第2四半期累計期間の業績をとりまとめましたので、その概要をご報告申し上げます。

当第2四半期累計期間における日本経済は、設備投資や雇用・所得環境が低迷し、厳しい状況が続きました。

このような状況のもと、当社グループの連結売上高は、前年同期比32.1%減の1,034億16百万円となりました。これは主としてセラミックス事業で自動車販売台数の低迷により自動車排ガス浄化用触媒担体やSiC製ディーゼル・パティキュレート・フィルター(DPF)などの自動車関連製品の需要が大幅に減少したほか、エレクトロニクス事業においても半導体製造装置用セラミックスやベリリウム銅展伸材などの需要が大幅に減少したことなどによります。

連結利益は、セラミックス事業とエレクトロニクス事業で売上高が大幅に減少し生産性が悪化したことに加え、為替円高の影響もあり、全社の営業利益は前年同期比78.3%減の62億77百万円、経常利益は同79.8%減の58億39百万円、四半期純利益は同80.0%減の37億40百万円となりました。なお、1株当たり配当金につきましては、当第2四半期累計期間の業績及び今後の業績見通しを総合的に勘案した結果、前年同期比で1株当たり3円減配し、8円とさせていただきます。

今後の日本経済は、自動車減税などの政策効果も期待されますが、先行きの不透明感は払拭されず、引き続き厳しい状況が続く見通しです。当社グループにおきましても、各国のインセンティブ効果による乗用車販売台数の増加など、市況の一部に回復の兆しが見られるものの、全体としては引き続き景気低迷による市況悪化の影響を受けており、現時点での通期業績見通しについては、売上高は前年同期比17.6%減の2,250億円、営業利益は同48.2%減の170億円、経常利益は同42.8%減の180億円、当期純利益は同48.9%減の125億円と前年同期からは大幅な減収減益となる見通しです。また資本効率を示す経

営指標ROEにつきましても、前年同期より3.8ポイント悪化し4.3%となる見込みです。

当社グループが対処すべき課題は、事業環境の急激な変化に対応して当面の業績悪化を最小限にとどめること及び構造革新に挑戦して収益力の回復と成長を実現することです。世界的に景気の低迷が続く中でも地球環境保全への意識の高まりを追い風に、環境貢献製品の提供を通じて業績回復と成長を図ってまいります。開発のスピードアップ・業務プロセスの見直しなどを通じた抜本的なコストダウンを図るほか、需要拡大を見込む中国市場向けがいしやNAS®電池(ナトリウム/硫黄電池)などについて増産体制の確立を着実に進めてまいります。

こうした取り組みを通じて企業価値を向上し、連結事業運営に基づく資本効率重視、株主重視の経営を推進してまいります。株主各位におかれましては、なにとぞ倍旧のご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

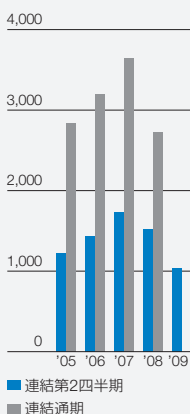
2009年12月

取締役社長

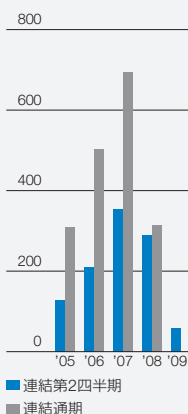
松下 雫

連結財務ハイライト

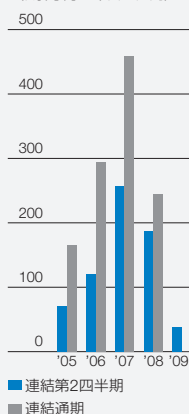
売上高(単位:億円)



経常利益(単位:億円)



四半期純利益・
当期純利益(単位:億円)



電力関連事業部門

当事業の連結売上高は、391億16百万円と前年同期に比べて8.2%増加しました。

がいしは国内500kV用などの大口案件が集中し前期並みを確保、NAS®電池は案件の前倒しなどもあり増収、機器配電は景気低迷による需要減により減収となりました。

連結営業利益は為替円高の影響があったものの、堅調なNAS®電池やがいしの大口案件の集中により前年同期比19.4%増の36億84百万円となりました。



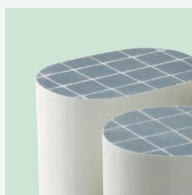
電力貯蔵用NAS®電池

セラミックス事業部門

当事業の連結売上高は、442億48百万円と前年同期に比べて44.5%減少しました。

自動車関連は、世界的な景気低迷による自動車販売台数の減少に加え円高の影響もあり大幅な減収となりました。産業プロセス関連は、景気低迷による客先設備投資の減少により減収となりました。

連結営業利益は、物量の減少や為替円高の影響などにより前年同期比84.3%減の30億96百万円となりました。



ディーゼル・パティキュレート・フィルタ（DPF）

エレクトロニクス事業部門

当事業の連結売上高は、201億61百万円と、前年同期に比べて44.8%減少しました。

ベリリウム銅展伸材は景気後退に伴う需要減により減収となり、半導体製造装置用セラミックス製品は半導体メーカーの設備投資が低調で減収となりました。また、カラープリンター用機能部品は物量の減少により減収、双信電機は情報通信インフラや産業機器向けの需要が低調で減収となりました。

連結営業利益は、物量の減少に加え為替円高の影響により、前年同期の61億2百万円の黒字から5億16百万円の営業損失となりました。



半導体製造装置用セラミックス

四半期連結貸借対照表 (2009年9月30日現在)

(単位:百万円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	204,544	流動負債	59,619
現金及び預金	47,047	支払手形及び買掛金	15,707
受取手形及び売掛金	46,349	短期借入金	4,813
有価証券	21,002	1年以内返済予定長期借入金	16,263
たな卸資産	74,884	未払法人税等	2,039
その他	15,409	引当金	1,719
貸倒引当金	△148	その他	19,075
固定資産	221,673	固定負債	58,326
有形固定資産	140,637	長期借入金	28,000
建物及び構築物	46,927	退職給付引当金	17,522
機械装置及び運搬具	53,585	その他の引当金	345
その他	40,123	その他	12,458
無形固定資産	1,928	負債合計	117,945
投資その他の資産	79,107	純資産の部	
投資有価証券	47,280	株主資本	309,459
その他	32,160	資本金	69,849
貸倒引当金	△332	資本剰余金	85,138
資産合計	426,218	利益剰余金	168,507
		自己株式	△14,034
		評価・換算差額等	△19,002
		その他有価証券評価差額金	4,693
		繰延ヘッジ損益	54
		為替換算調整勘定	△23,750
		新株予約権	643
		少数株主持分	17,172
		純資産合計	308,273
		負債純資産合計	426,218

(百万円未満切捨)

四半期連結損益計算書 (2009年4月1日から2009年9月30日まで)

(単位:百万円)

科目	金額
売上高	103,416
売上原価	75,623
売上総利益	27,793
販売費及び一般管理費	21,516
営業利益	6,277
営業外収益	2,812
営業外費用	3,250
経常利益	5,839
特別利益	28
特別損失	189
税金等調整前四半期純利益	5,677
法人税、住民税及び事業税	1,627
法人税等調整額	870
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△561
四半期純利益	3,740

(百万円未満切捨)

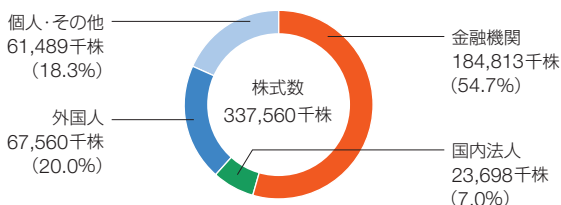
大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	32,050	9.80
第一生命保険相互会社	27,457	8.40
明治安田生命保険相互会社	18,695	5.72
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	17,521	5.36
株式会社三菱東京UFJ銀行	16,217	4.96
三菱UFJ信託銀行株式会社	5,639	1.72
日本生命保険相互会社	5,391	1.65
ザ チェース マンハッタンバンク 385036	4,501	1.37
全国共済農業協同組合連合会	4,396	1.34
東京海上日動火災保険株式会社	4,384	1.34

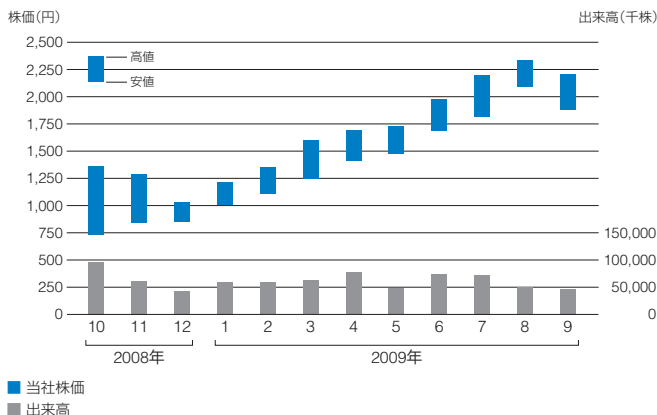
- (注) 1. 当社は、自己株式10,831千株を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。
 2. 上記持株比率は、発行済株式の総数から自己株式数(10,831,654株)を控除した株数を基準として算出し、小数点第3位以下を切り捨ててしております。

株式の情報

発行可能株式総数	735,030,000株
発行済株式の総数	337,560,196株
株主数	29,952名



株価の推移



会社概要

表記社名	日本ガイシ株式会社 NGK INSULATORS, LTD.		
商号	日本碍子株式会社		
代表者	代表取締役会長	柴田 昌治	
	代表取締役社長	松下 雋	
	代表取締役副社長	加藤 太郎	
	代表取締役	浜本 英嗣	
	代表取締役	和田 洋	
創立	1919年5月5日(大正8年)		
資本金	69,849百万円		

役員

*は代表取締役

* 取締役会長	柴田 昌治	取締役	伊夫伎光雄
* 取締役社長	松下 雋	取締役	齋藤 英明
* 取締役副社長	加藤 太郎	取締役	岩崎 良平
* 取締役	浜本 英嗣	取締役(社外)	丹羽宇一郎
* 取締役	和田 洋	取締役(社外)	小川 宏嗣
取締役	岡本 貫之	常勤監査役	瀬瀬 満
取締役	鶴田 栄一	常勤監査役	中島 啓
取締役	水野 丈行	監査役(社外)	平井 康之
取締役	藤戸 宏	監査役(社外)	田中 節夫

執行役員

*は取締役を兼務

* 社長	松下 雋	執行役員	宝池 隆史
* 副社長	加藤 太郎	執行役員	浜中 俊行
* 専務執行役員	浜本 英嗣	執行役員	阪井 博明
* 専務執行役員	和田 洋	執行役員	大島 卓
* 専務執行役員	岡本 貫之	執行役員	坂部 進
* 専務執行役員	鶴田 栄一	* 執行役員	齋藤 英明
* 常務執行役員	水野 丈行	* 執行役員	岩崎 良平
* 常務執行役員	藤戸 宏	執行役員	小沢 靖
* 常務執行役員	伊夫伎光雄	執行役員	福井 治男
常務執行役員	武内 幸久	執行役員	高橋 伸夫
		執行役員	大口 幸泰

株式メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 6月

剰余金の配当基準日 期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関

同連絡先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
TEL:0120-232-711(通話料無料)

公告方法

電子公告により当社ホームページ(<http://www.ngk.co.jp/IR/kessan>)に掲載いたします。なお、事故その他やむを得ない事由により電子公告することができない場合は、日本経済新聞および名古屋市において発行する中日新聞に掲載いたします。

株式に関するお手続きについて

1 特別口座に記録された株式

特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、下記連絡先までお問合せください。

お手続き、ご照会の内容	お問合せ先
<ul style="list-style-type: none">・特別口座から一般口座への振替請求・単元未満株式の買取・買増請求・住所・氏名等のご変更・特別口座の残高照会・配当金の受領方法の指定*	特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目 10番11号 ☎ 0120-232-711 (通話料無料) (平日9:00-17:00)
<ul style="list-style-type: none">・郵送物等の発送と返戻に関するご照会・支払期間経過後の配当金に関するご照会・株式事務に関する一般的なお問合せ	株主名簿管理人 手続き用紙のご請求方法 <input type="checkbox"/> 音声自動応答電話によるご請求 ☎ 0120-244-479 (通話料無料) <input type="checkbox"/> インターネットによるダウンロード http://www.tr.mufg.jp/daikou/

*特別口座に記録された株式をご所有の株主様は配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。

2 証券会社等の口座に記録された株式

株券電子化に伴い、証券会社等の口座に記録された株式の各種お手続きにつきましては、一部を除き原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問合せください。

お手続き、ご照会の内容	お問合せ先
<ul style="list-style-type: none">・郵送物等の発送と返戻に関するご照会・支払期間経過後の配当金に関するご照会・株式事務に関する一般的なお問合せ	株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目 10番11号 ☎ 0120-232-711 (通話料無料) (平日9:00-17:00)
・上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等にお問合せください。



〒467-8530 名古屋市瑞穂区須田町2番56号
TEL (052) 872-7176 E-mail: share-gr@ngk.co.jp

